



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社帝国ホテル 上場取引所 東
 コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 風間淳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 鈴木龍太 TEL 03-3504-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	41,973	6.6	2,564	62.7	2,906	55.7	2,866	19.3
2025年3月期第3四半期	39,363	△1.0	1,576	△47.9	1,866	△43.5	2,402	△26.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,941百万円(23.5%) 2025年3月期第3四半期 2,382百万円(△33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	24.19	—
	20.25	—

(参考) EBITDA 2026年3月期第3四半期 4,319百万円(27.8%) 2025年3月期第3四半期 3,378百万円(△34.8%)

(EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2026年3月期	80,187	47,258	58.9
2025年3月期	69,034	45,347	65.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 47,258百万円 2025年3月期 45,347百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
2026年3月期(予想)	—	2.00	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	56,100	6.6	1,600	0.6	2,100	1.8	2,050	△20.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一 社 (社名) 、除外 一 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	118,800,000株	2025年3月期	118,800,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	472,025株	2025年3月期	151,976株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	118,488,013株	2025年3月期3Q	118,648,024株

※当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」を導入しており、期末自己株式数には、当該信託口が保有する当社株式（2026年3月期第3四半期 320,000株、2025年3月期 0株）が含まれております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において自己株式に含めて控除しております。（2026年3月期第3四半期 160,000株、2025年3月期第3四半期 0株）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記載等についてのご注意）

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、景気は緩やかに回復してまいりました。一方で、米国の通商政策の影響や地政学リスクの継続、海外景気の下振れリスクについては引き続き留意が必要な状況にあります。

このような環境下、当社グループにおきましては、今年度から「中長期経営計画2036」のフェーズⅡのもと、ホテル事業を中心に高品質な商品、サービスの提供に一層努め、DXの推進などにより業務の効率化を図ることで利益の最大化を目指してまいりました。

また、将来の成長に向けた取り組みとして、東京事業所の建て替え計画の検討を進めるとともに、2026年3月5日の開業を予定している「帝国ホテル 京都」につきましては、2025年11月17日より宿泊予約の受付を開始いたしました（会員先行予約は同年11月11日より開始）。さらに、同年12月18日には竣工式を挙行し、国の登録有形文化財である弥栄会館の意匠を継承しつつ、祇園の歴史的景観と調和したスマートラグジュアリーホテルとして、開業に向けた準備を着実に進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比6.6%増の41,973百万円、営業利益は前年同期比62.7%増の2,564百万円、経常利益は前年同期比55.7%増の2,906百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19.3%増の2,866百万円となりました。

加えて、「中長期経営計画 2036」でも定量目標の一つにしておりますEBITDA（経常利益+支払利息+減価償却費）においては、前年同期比27.8%増の4,319百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比6.4%増の41,674百万円、営業利益は前年同期比15.1%増の4,374百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比63.4%増の299百万円、営業利益は96百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて16.2%増加し80,187百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて25.5%増加し34,881百万円となりました。これは有価証券の増加などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し45,305百万円となりました。これは有形固定資産の増加などによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて124.6%増加し16,949百万円となりました。これは短期借入金の増加などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し15,979百万円となりました。これは退職給付に係る負債の減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し47,258百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年5月13日付「2025年3月期 決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	11,444	14,148
売掛金	3,010	3,864
有価証券	11,733	14,774
貯蔵品	776	1,024
その他	820	1,070
貸倒引当金	△1	△1
流动資産合計	27,785	34,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,495	20,563
建設仮勘定	10,810	4,516
その他（純額）	7,779	7,918
有形固定資産合計	29,085	32,998
無形固定資産	1,598	1,540
投資その他の資産		
投資有価証券	5,822	5,677
その他	4,743	5,090
投資その他の資産合計	10,565	10,767
固定資産合計	41,249	45,305
資産合計	69,034	80,187
負債の部		
流动負債		
買掛金	1,120	1,768
短期借入金	–	9,000
未払法人税等	105	70
未払費用	1,948	2,815
前受金	795	616
預り金	233	475
賞与引当金	1,266	453
その他	2,074	1,750
流动負債合計	7,545	16,949
固定負債		
退職給付に係る負債	6,103	5,956
資産除去債務	1,030	1,031
長期前受収益	6,310	6,236
長期預り金	1,877	1,889
その他	819	865
固定負債合計	16,141	15,979
負債合計	23,686	32,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	40,892	43,046
自己株式	△89	△408
株主資本合計	43,666	45,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,350	1,445
退職給付に係る調整累計額	330	311
その他の包括利益累計額合計	1,681	1,757
純資産合計	45,347	47,258
負債純資産合計	69,034	80,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	39,363	41,973
材料費	7,950	8,019
販売費及び一般管理費	29,836	31,389
営業利益	1,576	2,564
営業外収益		
受取利息	38	95
受取配当金	50	58
受取手数料	131	125
持分法による投資利益	33	29
その他	46	45
営業外収益合計	300	353
営業外費用		
支払手数料	10	11
営業外費用合計	10	11
経常利益	1,866	2,906
特別利益		
投資有価証券売却益	564	–
特別利益合計	564	–
税金等調整前四半期純利益	2,430	2,906
法人税、住民税及び事業税	16	25
法人税等調整額	12	14
法人税等合計	28	39
四半期純利益	2,402	2,866
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,402	2,866

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,402	2,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	100
退職給付に係る調整額	18	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△5
その他の包括利益合計	△19	75
四半期包括利益	2,382	2,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,382	2,941

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,182	180	39,363	—	39,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	39,182	183	39,365	△2	39,363
セグメント利益又は損失 (△)	3,801	△278	3,523	△1,947	1,576

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,674	299	41,973	—	41,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,674	299	41,973	—	41,973
セグメント利益	4,374	96	4,470	△1,906	2,564

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,512百万円	1,413百万円